

広報



まくべこ

わたしたちのまち

(昭和58年9月1日現在)
 人口 21,588 (+65)
 男 10,645 (+44)
 女 10,943 (+21)
 世帯数 6,444 (+11)

— 人のうごき (8月中) —

転入 134人	転出 83人
出生 18人	死亡 4人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



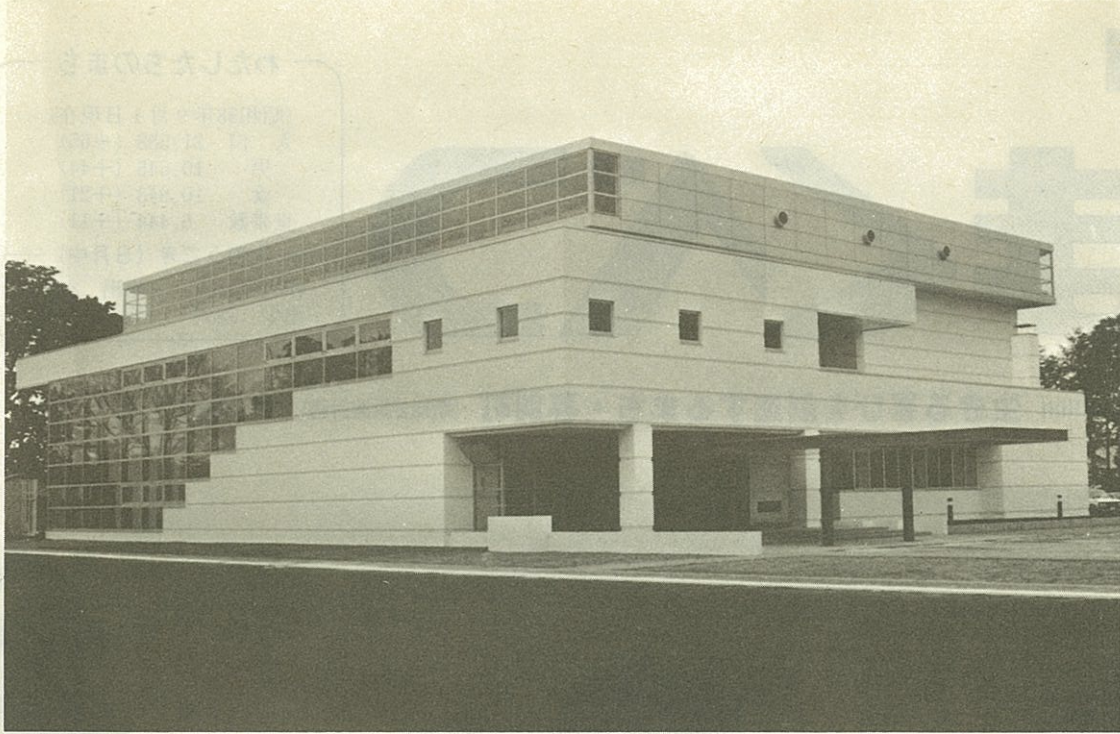
スポーツの秋へスタート

若さはつらつ、厳しい練習に励む札内中学校陸上部、石川かおりさん(3年)・馬場美和子さん(2年)・田村陽子さん(2年)・香田奈緒美さん(3年)の400メートルレーメンバーです。(左から)

58年 **10**

No.381

スポーツの殿堂が完成



町内初の体育専門施設として旧幕別小学校の跡地で、昭和五十七年度から建設を進めていた「農業者トレーニングセンター」が、いよいよオープンします。待ちに待ったスポーツの殿堂の完成ですが、町民の皆さんの健康と体力づくりの場、「コミュニティ活動の場」として、ご利用いただくことにしています。

笑顔に光るさわやかな汗

トレーニングセンターがお目見えした場所は、旧幕別小学校跡地で役場の西側です。町民の体力、健康づくりをねらいとして、昭和五十七年八月に着工。この九月に完成しました。

建築面積は、二千六平方メートル、鉄筋コンクリート造り一部二階建て。

総事業費は約四億五千万円（一般財源九千九百万円）で、新農業構造改善事業のひとつとして造られました。一階のアリーナ（競技場）は、千七十平方メートル、バスケットボール（一面）、バレーボールとテニス（二面）、バドミントン（六面）などができるほか、卓球台、とび箱、平均台などの用具が備えられています。二階はトレーニング室があり、体力測定器具（ジャンプメーター、肺活量計、背筋力計）、トレ

ニング器具（バーベル、コンビネーショントレーナー、サイクルトレーナー）などを利用して、さわやかな汗を流していただくのが魅力です。また、会議室では体育行事の打合せの場として利用できます。町民の皆さんの積極的なご利用をお待ちしています。

◇使用申込み 事務室窓口
備え付けの「使用許可申請書」で直接申込みください。

◇開館時間 午前九時から午後九時まで。

◇休館日 毎週火曜日と十二月三十日から一月五日まで。（火曜日が国民の祝日の場合は翌日）
このほか、詳細は教育委員会社会教育課社会体育係（☎五四一〇〇六）へお問い合わせください。

トレセンにひとこと

トレーニングセンターが、いよいよ10月初旬にオープンします。開館に先駆けて、町民の皆さんの中から期待する声を拾ってみました。



佐藤 清さん(45)
札内青葉町85
〔体育指導委員〕

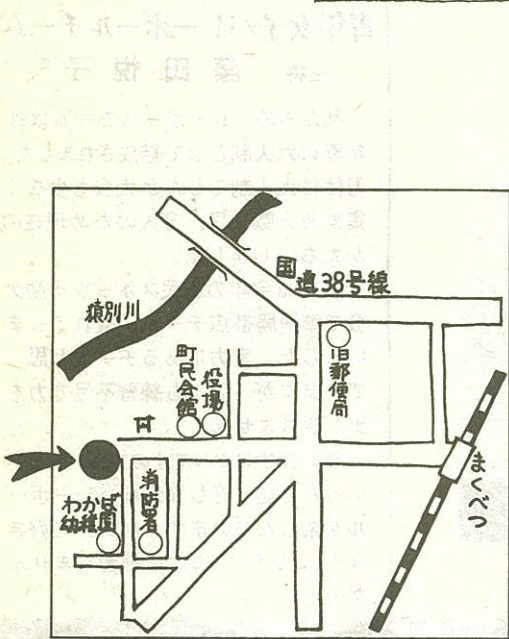
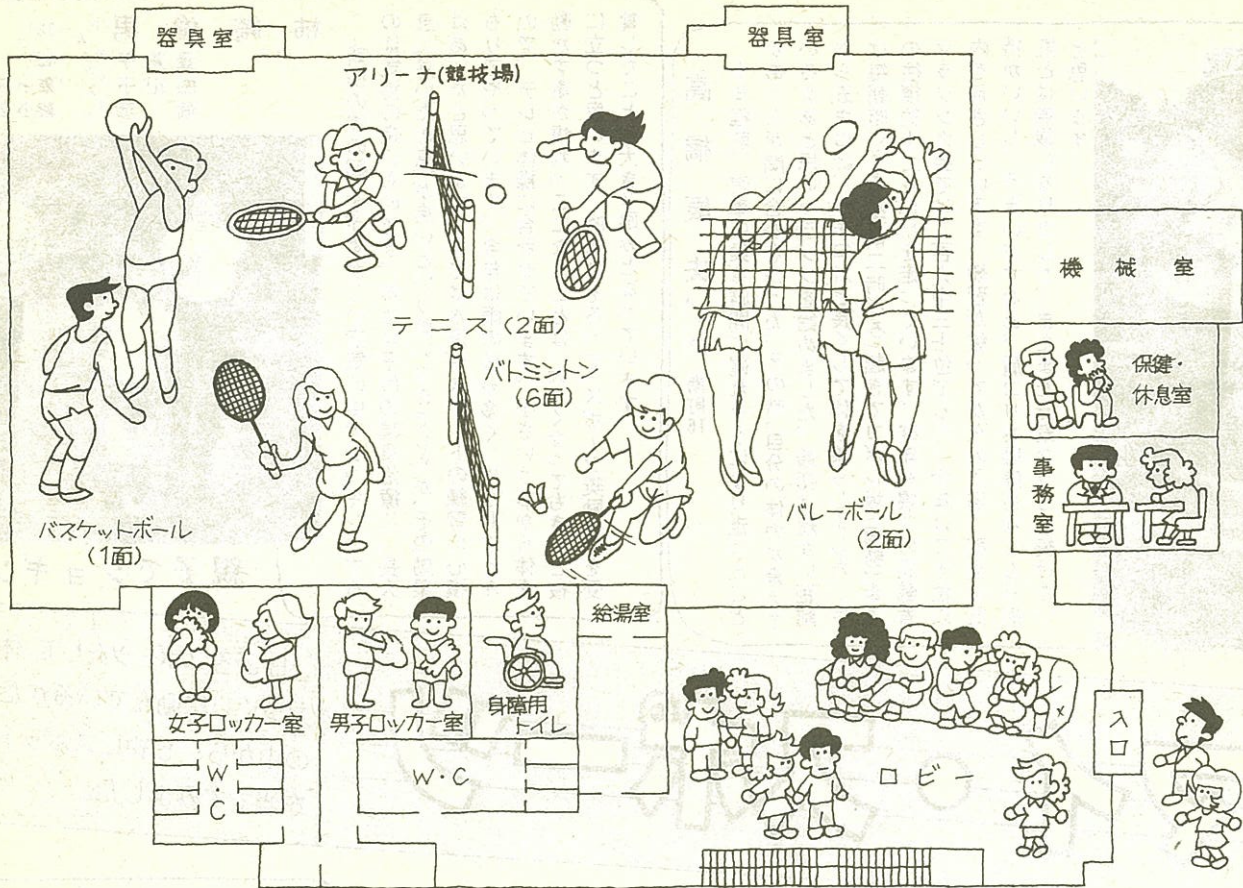
生活環境の変化に伴い健康、体力の増進について関心が高まり、スポーツ欲求が増大し、その実施者も増加している昨今、トレセン完成は意義が深いと思います。これを機会にスポーツの普及、発展を願い、愛好者の自発的な活動意欲を高めるため、トレセンを大いに利用していただき、一日も早く自分の体力を補う施設としての役割を理解したいものです。



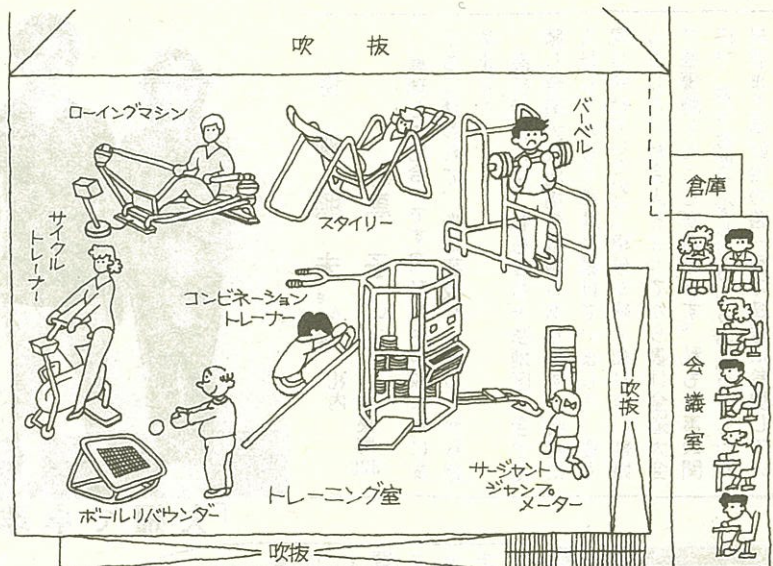
松田一隆さん(25)
相川707
〔農業〕

社会人バスケットをしています。トレセンオープンを待ち望んでいました。学校の体育館で練習をしていましたが、少し利用しづらい面もあり、試合場としてもいくつかの問題点もありましたけれども、これで解決されるのでは…

一階平面図



二階平面図



中学校でバレーボールをしています。トレセンはバレーコートが二面もとれるので、いいなあと思いました。トレーニング室はいろいろな器具が設備されているので、利用する人が増えると思います。これからトレセンを使わせてもらいますが、体育館で窮屈な練習をしていたので、うれしいです。きちんとマナーを守り、いつまでもきれいなトレセンであってほしい。



武田かおるさん(13)
相川
〔幕別中2年〕

「農業者トレーニングセンター」の完成おめでとうございます。以前より町に体育専門施設があったら良いと思っています。国が厳しい財源を考えると、よい時期に作ってくれたということになりますね。今後はより多くの町民が利用しやすいように使用手順の簡略化など、いつでも楽しめるよう配慮してほしいと思います。



佐藤千津子さん(33)
中里33
〔主婦〕

今後は僕自身も大いに利用したいと思いますが、各体連の利用ばかりでなく、一般の人たちも利用できる場所であってほしいです。

柿崎俊男さん (38) 新町38
美子さん (35) (幕小3年)
登由倫さん (幕小2年)



「親子でジョギング」

「新田の森の朝すがすがしい空気の中でジョギングするのは気持ちの良いものです。初めは子供の喘息治療に「長氣息」長いため息が良いという思いつきでしたが、その効果はあったと思います。今では水泳やスケートの練習の心積もりでやっています。今年は雨の日が多く、出られませんが、テレビ体操に合わせています。小さいうちから体を動かす事が慣れつことになることは、大きくなってきつと役に立つと思います。昨年はそろって「スポーツ奨励賞」を受賞したことが大きな励みとなっています。」

高橋辰夫さん (67) 南町16

十年程前、汽車に乗る時間に遅れそうになり走ったことがあったが間に合わなかった。その時、自分の体力が衰えているなあと思いマラソンを始めました。最初は短かい距離から五キロ、十キロと長くして体を慣らしました。今は毎朝暗いうち(午前二時ごろ)起きてコポレ坂(南勢)までの往復約十二キロを走っています。昨年札幌での高齢者マラソン大会では二百人中三十位でした。今年は二十位以内を目指しています。練習が終わってからの入浴、朝食は気持ちがいいし、うまいですなあ。肩コリも腰痛もなくなり病気とは無縁になりました。まだまだ元気なうちは続けたいと思います。」



「高齢者マラソン」

マイ・スポーツ

日ごろスポーツをして、体力づくりに励んでいるかたの中から、5組にスポットを当ててみました。

青年女子バレーボールチーム
主将 藤田悦子さん

私たちのバレーボールチームは昨年春に六人制として結成されました。母体は九人制でしたが大会も少なく集まる人数も7、8人のため現在のかたちになりました。

成績は今年の道民スポーツ十勝大会で準決勝帯広チームに敗れてしまいましたが、いつも練習不足で力を出きません。

若い女性ばかりですので、けっこういろんな話をしながらバレーボールを楽しんでいます。バレーの好きな人、どうぞいっしょに練習しませんか……。



「夫婦で卓球」

青柳照夫さん (33) 札内

恵子さん (33) 中央町320

卓球との出会いですが、私は中学校二年に友だちに誘われて、妻は高校へ入学してから始めました。

高校時代には、私も妻も十勝地区大会で優勝し全道大会出場の実績もあります。会社に入社してからも卓球は続けていました。妻も同じ会社だったので、卓球が縁で知り合い結婚しました。社会人となってから妻は全道大会で準優勝したことがあります。私も仕事の関係で、妻は育児で少しブランクがありました。最近また同好会の週一回の練習に参加しています。夫婦の話題は卓球で、趣味も卓球でも楽しいです。子供は男の子三人ですから卓球をしてほしいと思います。」

橋本一裕くん (襟内小四年) 五位 633
俊二くん (襟内小三年)

ぼくたちが野球を始めたきっかけは、野球が大好きだったからです。それに試合に勝っても負けても、OK牧場に行けるからです。今のポジションは、ぼくがピッチャーで弟がレフトです。チームの中で練習試合をする時は、弟はキャッチャーをすることがあり、兄弟でバッテリーを組むことが夢です。チームの成績は、今までゴールド負けばかりです。でもチームワークは良く、みんな真剣に楽しくやっています。」



「若い仲間とバレーボール」



「兄弟で野球」



芝桜で手づくりの公園

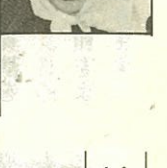
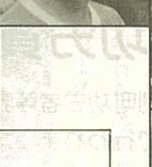
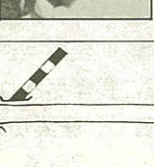
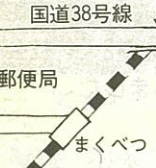
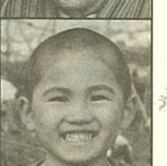
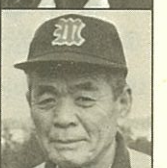
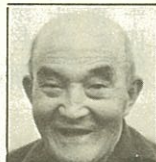


花咲くころがまちどうしい



9月18日のさわやかな秋空の下、約150人の町民が参加して、明野ヶ丘公園スキー場斜面に芝桜の一齐植栽が行われました。

植栽された芝桜は3,500株になり、そのうち2,500株は町民からの提供でした。約1時間半の作業でしたが、いい汗を流しました。



植えてみてひとこと

(熟年夫婦)

二人とも好きなもんですから庭に植えていたんですが、増えてきたもんで今日持つてきました。ちよつとえらそうかもしれませんが、自分たちの手で公園づくりをしているんだなあと思いますよ。

(おじいちゃん)

この秋空の下での作業は気持がよいですなあ。こうして自分で持ち寄って植えると愛着が出てくるもんですよ。今後の手入は参加者の自発的な考えでやれますとも。

(おばあちゃん)

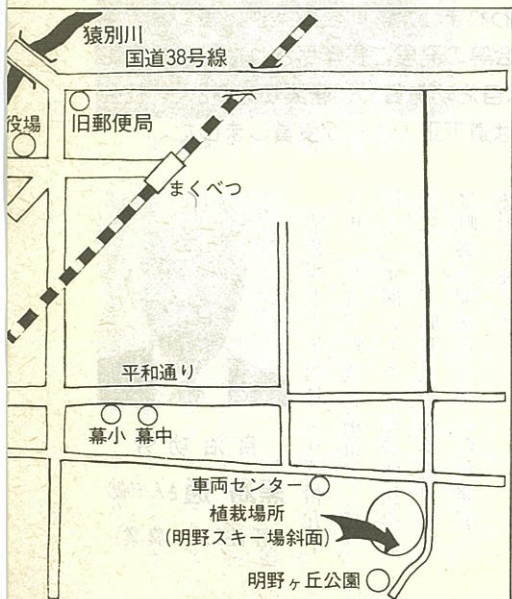
これからは年に一度草刈りに来なければならぬでしょうね。

(主婦)

きれいになりましたね。皆さんで力を合わせると、このようなお仕事ができるんですね。

(会社員)

このような住民参加のかたちもあるんですね。来年も参加するか。



名誉町民に美濃政市さん



食糧生産基地としての北海道農業の確立など、残こされた功績は誠に多大であります。昭和二十一年十一月町農地委員会委員に当選。以来会長として、同二十三年三月幕別町農協設立と同時に組合長に就任され、本町農業の発展に尽くされました。氏の温厚、誠実、高潔な人柄はだれからも親しまれ、加えて旺盛な責任感とたゆまない

研究心によって培かれた識見と行動力は、大衆の認めるところであります。昭和五十七年四月の叙勲では勲二等瑞宝章受章の栄誉にかがやいております。
(喜びの言葉)
今回は、町民として最高の栄えある受賞をいただき光栄に感激しています。かえりみますに終戦の直後、混乱した社会状況のもとで、町民の皆さんにご信任をいただき引続き各般の重要な務めをさせてもらいましたが、ご期待を果せず反省をしています。永い間お世話になりました。

元衆議院議員の美濃政市さんが、九月二十二日の町議会で幕別町名誉町民に決まり、十月一日の開町記念日に町民会館で顕彰式が行われました。

美濃さんは、明治四十五年一月七日池田町で生まれ、昭和十三年から糠内で農業を営む。昭和二十七年十月、町議会議員に当選。その後道議会議員として道政にたずさわり更に昭和四十二年一月から五十四年十月までの十二年間衆議院議員として、国政に参画され大蔵常任委員、農水常任理事、沖縄・北方問題特別理事、北海道開発審議会理事を歴任されました。特に昭和五十三年一月には、物価問題等特別委員会委員長に就任され、国民の大きな期待の中で国民生活の安定向上に活躍しました。豊かな郷土づくりのため、わが国の

主な公職歴

- 昭和二十一年二月～二十六年七月 幕別町農地委員長
- 昭和二十六年七月～三十八年七月 幕別町農業委員会会長(四期)
- 昭和二十七年十月～三十八年四月 幕別町議会議員(うち議長二期)
- 昭和三十八年四月～四十二年一月 北海道議会議員(一期)
- 昭和四十二年一月～五十四年十月 衆議院議員(四期)

主な民間歴

- 昭和二十三年三月～五十五年四月 幕別農協組合長理事
- 昭和二十八年二月～三十二年六月 ホクレン農業協同組合連合会理事

表彰歴

- 昭和三十三年七月～三十八年四月 道農業会議農政部長議員
- 昭和三十五年五月～四十七年六月 道信用農協連理事
- 昭和三十八年八月～四十一年五月 道共済連合会理事
- 昭和四十七年五月～五十年五月 道厚生農協連合会理事
- 昭和三十六年十月 幕別町自治功労賞受賞
- 昭和五十五年四月 幕別町農業協同組合名譽組合員賞受賞
- 昭和五十五年五月 全国農業協同組合中央会長より農業協同組合功労賞受賞
- 昭和五十七年四月 勲二等に叙せられ瑞宝章を賜る。

長年の功績たたえて 町功労賞等表彰

昭和58年度幕別町功労者等表彰式が10月1日(開町記念日)に町民会館で行われました。町表彰条例に基づき、本町の自治・経済・社会等の発展に長年尽されたかたを表彰するもので、本年度は自治功労賞3人、産業功労賞2人、社会功労賞3人で、善行賞は道下正人さんが受賞しました。



自治功労 大石忠夫さん(74歳) (緑町18・無職)

昭和五十年町長に当選し以来二期八年にわたり住民福祉の増進健全財政の確立など幾多の問題を抱えた社会情勢の中で町政の推進役として多年の社会経験をもとに卓越した指導力と行政手腕を発揮し、住民福祉の増進・商工振興・健全財政の確立に献身的な努力を傾倒され町行政の向上に多大の貢献をされました。
町民何人からも敬愛と信頼をよせられている徳望家であります。



自治功労 黒島通さん(69歳) (千住116・農業)

昭和四十六年四月より昭和五十八年三月まで町議会議員として三十二年間にわたり地域住民の信託に応え、昭和五十四年五月からは町議会議長を努め町政発展に寄与しました。
現在は、町代表監査委員として活躍中であり本町の自治振興のため多大の貢献をしています。
人格賢明、旺盛な責任感と指導力があり温厚な人柄は地域住民の信望をよせられています。



自治功労 森脇仁さん(54歳) (寿町2・会社役員)

昭和四十六年町議会議員に当選して以来、卓越した識見と旺盛な実行力により議会政治の進展と、本町の自治振興を図り、昭和五十年から二期六年間にわたり農業委員として本町農業の発展に多大の貢献をしています。
誠実、加えて旺盛な責任感と指導力、研究心によって地域の信望も厚く地域の発展に大きく寄与しました。



産業功労
木村 章さん(67歳)
(大豊186・農業)

幕別町農業協同組合理事、幕別地区酪農振興会会長を歴任し、長年にわたる農業経営を通じ本町の畑作、酪農業において指導的立場で地域農業の発展に大きく貢献しました。

昭和四十九年から昭和五十五年まで民生委員として住民福祉に尽力した功績は多大であります。その誠実、円満な人柄は地域の希望も厚く地域の発展に大きく寄与しました。



産業功労
棚留三郎さん(63歳)
(新川155・農業)

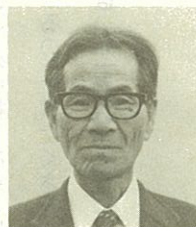
昭和四十一年から三期九年間農業委員を努め、昭和五十年からは新川・明道営畑総事業促進期成会会長として本町の農業振興、農業基盤の整備に尽力し、昭和四十四年から四十六年まで公区長として地域の発展に寄与しました。誠実、温厚な人柄でたゆみない研究心に富み、識見と温情をもって人に接し地域住民の信望をよせられています。



社会功労
矢野治郎さん(81歳)
(札内中央町・無職)

戦後の食糧難時代に十勝地区食糧調整委員を努め、地域住民の食糧問題に尽力し、昭和四十二年から昭和四十六年まで民生児童委員として昭和四十七年からは学校法人幕別幼稚園理事として現在まで住民福祉と幼児教育に多大の貢献をしています。

昭和四十八年から昭和五十六年まで温厚な人柄をもって札内中央町公区長として活躍し地域の発展に寄与しました。



社会功労
楠一二三さん(68歳)
(札内中央町・無職)

札内農協勤務のかたわら消防団員、班長として約十六年住民の生命と財産を守り、昭和三十七年から五十六年まで納税貯蓄組合長として納税思想の向上に努力し、公区長、自衛隊協力会、交通安全協会などを努めました。

援農協力会事務局長時代には、その円満な人柄と積極的行動により地域農業経営者に側面より協力をし、地域農業の発展と労働力確保に尽力しました。



社会功労
橋本俊光さん(60歳)
(五位633・農業)

昭和三十五年の身体障害者幕別分会設立当時から役員にあつて十六年間会長職にあり、本町の障害者の福祉向上などに努力しその間昭和三十九年からは社会福祉協議会理事、昭和五十五年からは監事として活躍し住民の福祉に多大の貢献をしています。

温厚、誠実な人柄は誰からも親しまれ地域住民の信望をよせられています。



善行賞
道下正人さん(67歳)
(相川755・無職)

昭和二十五年三月より旧途別川において毎年飛来する白鳥の保護監視を始め、昭和四十四年には町教育委員会より白鳥保護監守員に委嘱され、白鳥の保護や生態研究・環境保全に尽力しました。

新聞、テレビなどで紹介され町民から「白鳥おじさん」と親しまれています。初めてえ付けをした当時、白鳥は寄りつかず畑にうづくまっっているだけでその警戒心を解くことに二十年もかかりました。

そのときあなたは… 高層住宅で避難訓練

高層住宅を対象とした災害時に対する避難訓練が、九月四日札内あかしゃ町の四階建て道営・町営住宅を対象にして実施されました。参加したのは十二棟二百三十二戸、五百人で午前八時消防車のサイレン吹鳴の合図で南側避難はしごにより避難開始し全員なかよし公園に集合。消防車により町営二号棟に放水訓練を実施しました。また町営一号棟に逃げ遅れた人がいることを想定して、消防署員が救急訓練用の人形を使って救出し、応急手当を施し救急車に収容及び



いざというときに備えて

見事な石ズラリ

幕別で十勝石まつり

ふるさとの石を見直そう―。第六回十勝石まつりが九月十一日



にぎわった十勝石まつり

午前九時から町民会館で催されました。管内市町村持ち回りで開かれているもので、今回は大展示、特別化石、十勝石玲ろうコンクール、ポラライ・ループタイ、くみひも展示などの九コーナーがあり、世界でも珍しい「宇宙から飛んで来た黒曜石」(インドシナテクタイ)や一つが時価百万円を超す十勝石、五十万円以上のポラライなどが出品されました。このほか、石器展示、磨かれた十勝石の面に好みの絵や字を書いたサンドブラスの彫刻の実演が披露され、たくさんのお客でにぎわいました。

水道は多くのお金と手間が…

水道事業の経営の仕組み

◎ 料金収入だけで賄う水道事業

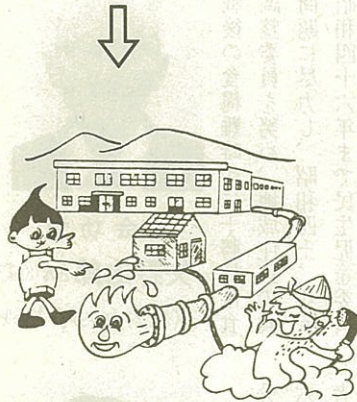
水道は健康で文化的な生活の基礎であり、一日とも欠くことのできない大事な生活用水です。水道事業は「地方公営企業法」により、事業に必要な経費は、その事業に伴う収入をもって充てる、ということが決められており、この原則を「独立採算制」といいます。町民の皆さんに水を送り届けるのには、たくさんの経費がかかりますが、独立採算制の原則から水道にかかる費用は、水道料金で賄うことになるわけです。



施設の建設のため国などから資金を借ります。借った元金には、多額の利息をつけて返していかなければなりません。



水道の施設計画は、町の発展を見越して先々と進めていくことになります。

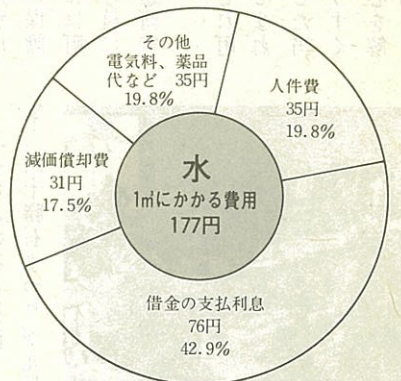


その他にも安定した水の供給を続けるためには、たいへん多くの維持管理費が必要です。



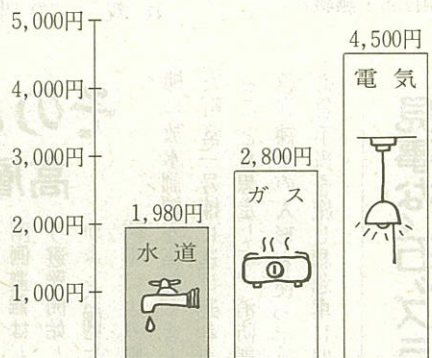
これら借入金の返済や維持管理に必要な経費は、皆さんから頂く水道料金で賄います。

水道の水1立方メートルには
177円の費用がかかります



◎現在の水道料金1立方メートル当たり150円の半分が利息の支払いに使われています。

家庭用1世帯1カ月の
水道料金は平均1,980円です



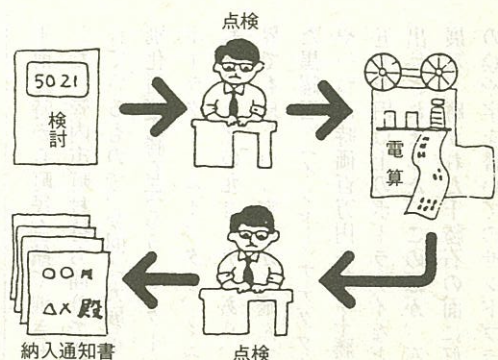
水は1升27銭です

酒	1升	1,800円
米	1升	788円
正油	1升	470円
ジュース	1升	414円
牛乳	1升	396円

つぎのようなときは
必ず事前にお届けください。

- ☞ 引越して行かれるとき (転出)
- ☞ 引越してこられたとき (転入)
- ☞ 家の改築などで給水装置を移動するとき (移動)
- ☞ 水道の使用者や所有者が変わるとき (変更)
- ☞ 用途が変わるとき (例 一般用から営業用など)
- ☞ 支払い方法を変えるとき
- ☞ 工事用水に水を使うとき

上記の場合、お宅の「調定番号」を忘れないでお知らせください。





秋晴れのもと 大会新が続出 全町陸上選手権大会

第七回全町陸上競技選手権大会が、九月十一日、町営陸上競技場で行われました。(一位のみ掲載)
■小学男子の部「太字は大会新」
 ▽一年六十歳・加藤大輔(幕小)
 ▽二年八十歳・瀬戸幸司(同)▽三年百歳・中本英俊(同)▽同千歳・小川純(札南小)▽四年百歳、同千歳・木村尚樹(幕小)▽五年百歳・鳥海正行(札南小)▽同千五百歳・中山仁(幕小)▽同走り幅跳び・相沢幸輝(相小)▽同走り高跳び・山田

潤(同)▽六年百歳・佐藤文将(札南小)▽同千五百歳・山畑尚禎(幕小)▽同走り幅跳び、同走り高跳び・松本真吾(幕小)▽共通四百歳リレー・相川小

■小学女子の部
 ▽一年六十歳・磯部真有美(幕小)▽二年八十歳・小田嶋亜紀子(同)▽三年百歳・真下直美(札南小)▽同千歳・長内静香(札北小)▽四年百歳・松岡淑恵(棟小)▽同千歳・小野寺友子(幕小)▽五年百歳・藤原佳世子(同)▽同八百歳、同走り幅跳び・大野弘美(途小)▽同走り高跳び・小野めぐみ(札南小)▽六年百歳・掛川洋子(同)▽同八百歳・堀口友美(幕小)▽同走り幅跳び・佐野利恵(同)▽同走り高跳び・長尾徳子(同)▽共通四百歳リレー・幕別小

■中学男子の部
 ▽一年百歳・小田浩(札中)▽同千五百歳・神馬強志(幕中)▽二年



よいい、ドン!

百歳・沢田敦(札中)▽同千五百歳竹内満晴(幕中)▽三年百歳・石野英樹(札中)▽共通二百歳・斉藤玄(幕中)▽同四百歳・竹内満晴(同)▽同百歳障害・沢田敦(札中)▽同八百歳リレー・札内中C ▽同走り幅跳び・岡野新一(札中)▽同走り高跳び・植村淳(同)▽同砲丸投げ・工藤章智(同)

■中学女子の部

▽一年百歳・増山己記(札中)▽二年百歳・馬場美和子(同)▽三年百歳、共通二百歳・石川おかり(同)▽共通八百歳・高橋佳江(同)▽同百歳障害・岩井衣子(幕中)▽同四百歳リレー・札内中B ▽同走り幅跳び・石川おかり(札中)▽同走り高跳び・穴水ちさ子(同)▽同砲丸投げ・広瀬なおみ(同)

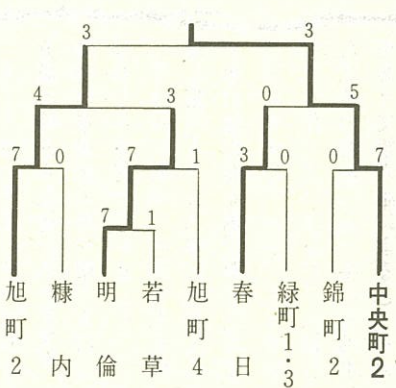
■高校男子の部

▽共通百歳、同二百歳・佐藤栄治(帯工)▽同四百歳・杉本好幸(同)▽同八百歳・佐藤徳明(同)▽同千五百歳、同五千歳・神山和寿(同)▽同百歳障害・佐藤栄治(同)▽同三段跳び・藤野忍(同)▽同走り幅跳び・佐藤栄治(同)▽同走り高跳び・藤野忍(同)▽同砲丸投げ・鹿能俊(同)

■一般男子の部

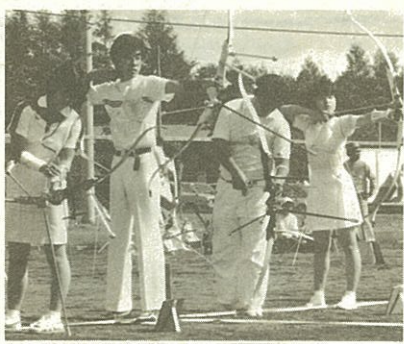
▽百歳、四百歳・佐藤繁雄(畜大)▽走り幅跳び、三段跳び・都鳥秀史(同)

**ジャンケンで優勝決まる
第28回町民野球大会**



第二十八回町民野球大会が、八月二十八日、町営球場ほか二グラウンドで九チームが参加して行われました。結果は左表のとおり。

**ロケット勢ぞろい
第11回アーチエリート大会**



標的をねらって……

第十回アーチエリート大会が、九月十一日、幕別温泉前特設レンジで行われました。(二位のみ掲載)

■五十歳、三十歳の部

▽少年男子・稲川宏 同女子・大島由香 ▽成年男子・宮部定信

▽壮年男子・山田政義 ▽国体少年男子・松平利則

■三十歳、二十歳の部

▽少年女子・半田泉子 ▽壮年男子・長崎利典

■二十歳、十三歳の部

▽壮年男子・宮川栄一 同女子・坂東美世

■十三歳、十三歳の部

▽壮年男子・棚進 同女子・橋本タミ子

第12回全町水泳大会が行われる

第十二回全町水泳大会が、九月四日、町営温水プールで百三十人が参加して行われました。(一位のみ掲載)

■自由形

●二十五歳 ▽一年男・渡辺伸一(札南小)女・清野こず恵(同)▽二年男・扇弘樹(幕小)女・渡辺安岐穂(札南小)▽三年男・橋本尚人(幕小)女・沖みゆき(札南小)▽四年男・鏡温幸(同)女・藤田麻奈美(同)▽五年男・渡辺文章(同)▽六年女・横山典代(札北小) ●五十歳 ▽一年女・清野こず恵(札南小)▽二年男・柿崎倫彦(幕小)女・長嶋知子(札南小)▽三年男・高橋成史(同)女・中村純子(同)▽四年男・鏡温幸(同)女・浜村志乃(同)▽五年男・鳥海正行(同)女・額瀬美佐紀(幕小)▽六年男・佐藤文将(札南小)女・野口三千代(同)▽中学男・福西亮(札中)女・寺地美和(同)

●百歳 ▽二年男・中山乃(幕小)▽三年男・高橋成史(札南小)女・中静裕佳(同)▽四年女・松田望(同)▽五年男・中山仁(幕小)▽中学女・寺地美和(札中)

■背泳

●二十五歳 ▽二年男・安田史樹(札南小)▽三年女・沖みゆき(同)▽六年女・横山典代(札北小) ●百歳 ▽三年男・棚谷拓人(札南小)▽四年男・松田幸治(札北小)▽五年女・栗木友美(白小)▽六年男・佐藤文将(札南小)女・堀口友美(幕小)▽中学男・横田昭彦(札中)女・高山千夏(幕中) ●百歳 ▽四年男・松田幸治(札北小)▽六年女・堀口友美(幕小)▽中学男・嶽山敏嗣(札中)女・高山千夏(幕中)

■平泳

●二十五歳 ▽二年男・坂本光晴(札南小)▽三年女・中野友香(同) ●五十歳 ▽二年男・柿崎倫彦(幕小)女・長嶋知子(札南小)▽二年男・中村貴光(途小)女・中静裕佳(札南小)▽四年女・浜村志野(同)▽五年男・中山信一(同)女・額綱美佐紀(幕小)▽六年男・工藤崇晶(札南小)▽中学女・横田智美(札中) ●百歳 ▽三年男・棚谷拓人(札南小)女・高橋佳奈美(同)▽四年女・高橋いのり(同)▽五年男・中山仁(幕小)▽六年男・工藤崇晶(札南小) バタフライ ●二十五歳 ▽二年男・中山乃(幕小) ●五十歳 ▽二年男・中野聖(札南小)▽三年女・中村純子(同)▽四年女・松田望(同)▽五年男・鳥海正行(同)女・栗木友美(白小)▽中学男・横田昭彦(札中)女・横田智美(同)

ま ち の ニ ュ ー ス



▼廃品回収の益金五十万円超える

札内青葉公区では昭和四十七年から資源回収を始めましたが、今年の子供会が行った廃品回収益金で五十万円を超え、公区二十周年事業にと積み立てしています。



▲安全運転してください

札内泉町老人クラブ「寿会」が、九月十日、通称温泉道路で交通安全のチラシやパンフレットを配る街頭啓発を行いました。



▲万々に備えて

札内若草公区では、家庭の主婦を中心に、消火器を使っての実技訓練を実施しました。



このコーナーにあなたの周りのニュースを登場させてみませんか。取材にうかがいますので、役場の広報広聴係まで連絡ください。

幕別風土記 三

「猿・とり、荒れて、犬ぬくい」といつて猿、とり年は冷害が多く、犬年は豊作が多いと親たちが話していました。



千住144番地 篠原 一彦さん(84歳)

私は、幕別村大字白人八十一番地の現在地で明治三十二年一月十日に生まれました。父親は松浦嘉太郎、母親はユキで香川県三豊郡神田村の出身です。父は明治三十年に北海道へ渡り現在地へ入植し開墾を始めたそうです。父母の開墾の苦労は私が五歳の時から記憶がありますが、住宅は草屋根のかや壁で入口にはむしろを使っていました。冬は毎日朝早くから大木を伐採し集めておいて、春に火を入れて木の株の間を鋤で掘って、自家用のイナキビ、大麦、とうきびなどを作っていました。入植した翌年の明治三十一年に大洪水があり父親の話によると、その大雨は九月一日の夜半から降り始めて、七日まで降り続いたそうです。各河川がはらんして家屋や田畑に多くの被害があり、収穫は皆無であったそうです。「猿・とり、荒れて犬ぬくい」といつて猿・とり年は冷害が犬年は豊作が多いと親たちが話していました。明治三十八年に白人尋常小学校へ入学し卒業生二十四名でしたが、現在生存しているのは私一人になりました。明治四十四年には止若高等学校へ入学し卒業生での生存は石田勝さんと私の二人だけです。除隊後、大正九年三月二十三日に結婚し、翌年に分家して本格的に農業を始めました。その翌年、大正十一年に大きな水害があり、ひどいめに遭いました。当時は今の国道38号線の十号から十四号までの間に五つの木橋があり、至る所に小さな河川がありました。青年時代のうれしかったことは、正月、お盆、お祭りなどで、その日以外は仕事の繰り返しでした。娯楽はあまりなかったが、相撲では各地区のお祭り相撲にはよく出ました。用事があって街に出るときは歩くか馬でいった。今の生活は毎日お祭りのようですわ。

デイサービス施設完成

特養老人ホーム内寮

体の不自由なお年寄りのいる家庭では、日常の世話だけでも大きな負担になっている場合が多く、この現状を少しでも軽減しようと、特別養護老人ホーム内寮では、地域開発事業と、機能回復訓練を充実させるためデイサービス施設（機能回復訓練室兼集会室）の建設を進めていきましたが、このほど日本自転車振興会の補助事業で完成しました。

デイサービス施設は鉄骨造り平屋建て、面積百八十四平方メートルで、総事業費は約二千二百万円。



機能回復訓練をするお年寄り

デイサービス事業は、町が窓口になり、町社会福祉協議会の協力、町内ボランティア活動など、ホーム施設を地域老人に開放し、次の事業を行います。

- ・入浴サービス
- ・短期入寮

短歌

あゆみ会

八月詠草

夫やがて戻る刻なり窓ごしに雨あし見れば意外や激し
盆に來し孫等騒ぎて帰りたる部屋に黄色き毬のころがる
杓き日の盆の踊りのざわめきの聞ゆる夜に吾子は逝きたり
色褪せるも務めを果す桐たんす骨董品と我が思ふなり
冷害に追討ちかける長雨は麦穂発芽の被害拡げる

高木さわ子
坂東 美世
安藤 温子
川田ミツエ
長谷川 勲

役場人事異動

九月一日付

- ・食事サービス
- ・生活指導、日常訓練、介護相談
- ・老人クラブとの交流行事など

その他詳細は、役場民生課福祉係にお問い合わせください。

九月一日付で役場の人事異動を実施し、次の二十二人が異動しました。

今回の人事では、札内区画整理事務所副所長と社会教育課ふるさと館係を新設しました。

◆課長職
▽札内区画整理事務所副所長(土木課土木係長) 堀井守

◆係長職
▽町民課環境衛生係長(税務課住民税係) 梅田善通
▽土木課土木係長(土木課土木係) 堀井守

▽町民課環境衛生係長(税務課住民税係) 梅田善通
▽土木課土木係長(土木課土木係) 堀井守

ご寄付ありがとうございます

■町社会福祉協議会へ……

▽弘文堂画廊から色紙揮毫料の一部として五千元
▽匿名のかたから千円二回
▽橋本俊光さん(五位)から土勝地区身障者スポーツ大会へ五千元
▽日置誠治さん(帯広市)から町民ゴルフ大会ホールインワンを記念して愛情銀行へ十万円
▽日置誠治さん(帯広市)から二万円
▽町民ゴルフ大会代表から大会益金として五万三千元

■老人クラブへ……
▽内野兼佳さん(西猿別)から西

木係長(水道課工務係長)平野利夫
▽水道課工務係長(町民課環境衛生係長)藤内和三
▽教育委員会社会教育課ふるさと館係長(農林課農政係)島田吉昭

◆係職
▽総務課総務係・田村優子
▽企画財政課経理係・山田麗子
▽民生課福祉係・水川潔
▽同年金係・坂口惣一郎
▽町民課住民係
成田信子
▽同環境衛生係・有沢幸雄
▽税務課資産税係・中谷正人
▽同納税係・金田恭之
▽同住民税係・沢部紀博
▽農林課農政係・新屋敷清志
▽開発商工課開発調整係・長谷繁
▽都市計画課事業係・八代芳雄
▽同管理係
早苗和男
▽土木課土木係・森範康
▽同同・角田和彦
▽同同・農業土木係・佐藤俊克
▽出納係・伊藤めぐみ

▽多田文敏さん(札内中央町)から札内寿会へ三万円
▽池田シズさん(札内中央町)から札内寿会へ五千元
▽岡田きはるさん(相川)から相川北一心会へ一万円
▽矢竹登美さん(相川)から相川北一心会へ千円
▽永原ハツエさん(糠内)から糠内老友会へ一万円

その他

▽匿名のかたから町交通安全協会へ交通安全のために役立ててくださいと千円

新町民登場

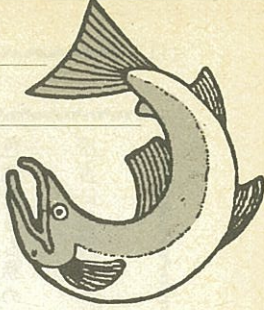


伊東 尋美さん
明倫38番地

六月に結婚のため、愛知県岡崎市から来ました。

岡崎市は徳川家康の生まれ所として今、観光客が連日訪れています。紡績工場が多く墓石、灯ろう、石の彫刻など有名です。緑が多く住みやすい町です。幕別の印象は町の中に街路樹や花壇が少なく殺風景な町に見えました。

北海道は前から憧れてたんです。前の会社では事務系の仕事でしたから、身体を動かさず汗を流して働くところを希望していました。また、旅行にきたいなと思ってても会社の休みが取れないし、新婚旅行は絶対北海道にと決めていたんです。広い大地に青い空、緑の草原を夢見ていました。今、このことが実現してたいへんうれいす。農業については経験、知識はまったくありませんが、夫と力を合わせて頑張りたいと思います。

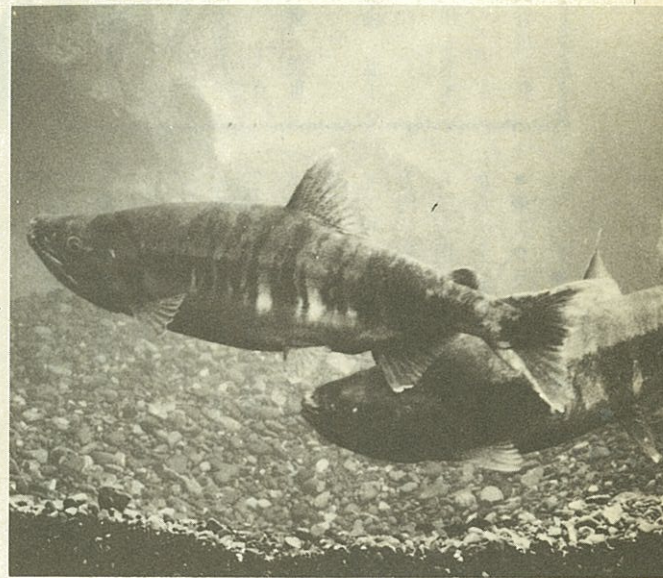


サーモン通信 ③2

ただいまあ〜

ことしもサケの産卵の季節がやってきました。十カ月ぶりにふるさと館にも帰ってきました。

ジャンボ水槽では、十月一日から大樹町浜大樹の杉森漁業部の協力により、海で捕獲されたサケが見られます。

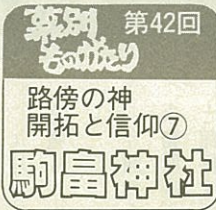


10月から再び水槽にサケが（写真は昨年）

十月二十日前後の産卵時期に、例年実施しているオールナイト観覧会（二十四時間開館）を行ないます。入館料は平常通りですが、自然のドラマを目撃する絶好のチャンスです。

過去の経験では、満潮、干潮時間の前後に産卵するようです。産卵のシーンを、撮影をしたい人は、カメラ、ビデオを持って、じっと見るだけの人もぜひお出かけ下さい。

「つつぶのすもも」



与三吉は、河西支庁（十勝支庁）に土地を求めると、朝早く出かけました。

一、支庁は、大通りを真すぐ北に向かい、十勝川の近くにあった。与三吉は、富山県から父母と共に川西に入植し、開拓の鎌をふるった。それから三年たち、丁度嫁をもらう年頃であった。

二、三度、門の前を行ったり来たりしてから、身を整えたと決心したように足早に入って行った。若い事務員に尋ねると、第二課に行くことを教えてくれた。窓口顔を近づけて「もし、あのー、土地がほしいんですが」

とおそろおそろ尋ねると、「どこの土地がほしいのだ。」「はあー、それが、どこかにありませんか。」奥の方で聞いていた中年の役人が、「奥糠内にあるが、そこはどうかね。」

「はい、よろしくうございます。」役人からあさつての段取りを聞くのと、軽い足どりで玄関を出た。三日後、役人三人と、与三吉は朝早く出かけ、糠内の駅通から馬を三頭用だてし、与三吉は、後からボールをかついで、大木の間を縫うようにして行った。

と造げると、役人は大変喜んで与三吉にこの季の種を記念に植えてみるようすすめた。

移転した神社跡地は、神聖な場であるということと、与三吉の朝夕の礼拝の対象がなくなった事を寂しく思い、太子堂を建立した。

「もし、この種が芽を出したら、この土地十町歩（10ヘクタール）をお前にやる。もし芽が出なかつたらとりあげだ。」

今ある境内を見まわすと、道端には、社標「駒島神社、高橋勇」右の方には、太子堂、馬頭観音が一つの屋根の下に、台石には、中村義則奉納と記されてあった。

大正十二年、大風のために祠はひっくり返つたので、与三吉の地所に移転した。

大正十四年九月、宮大工川辺新松氏の寄付で現在地に新築した。

「は、この頃になると、奥糠内も入植者が増えると共に、軍馬補充輸送路として、上更別にぬける街道もでき、街なみもできてきたのである。」

与三吉の地所にある神社は、街からやや離れたため、駅通の主人・高島氏は、与三吉に神社を市街に移すことをすすめた。

大正十四年九月、宮大工川辺新松氏の寄付で現在地に新築した。

（取材 岩田 繁行）
●取材協力 杉山荘一さん／中村キヨさん／玉置 清さん。

（注）文中の第二課とは殖民及地理に関する事務の担当課です